



第34回

東日本女子駅伝

2018
11.11 SUN

福島市信夫ヶ丘競技場
福島県福島市古川 14-1



11月11日(日曜日)に行われた東日本女子駅伝。東日本の18都道府県の選手がそれぞれのプライドをかけた「たすきリレー」が繰り広げられました。茨城県代表選手として2名の選手が出場しました。スタートを小澤選手、アンカーを小井戸選手が務め、思いを込めた1本のたすきをつないでいきます。



入念にウォーミングアップをし、集中力を高めます



小澤 夏美 選手

記録 19分45秒

区間順位 10位

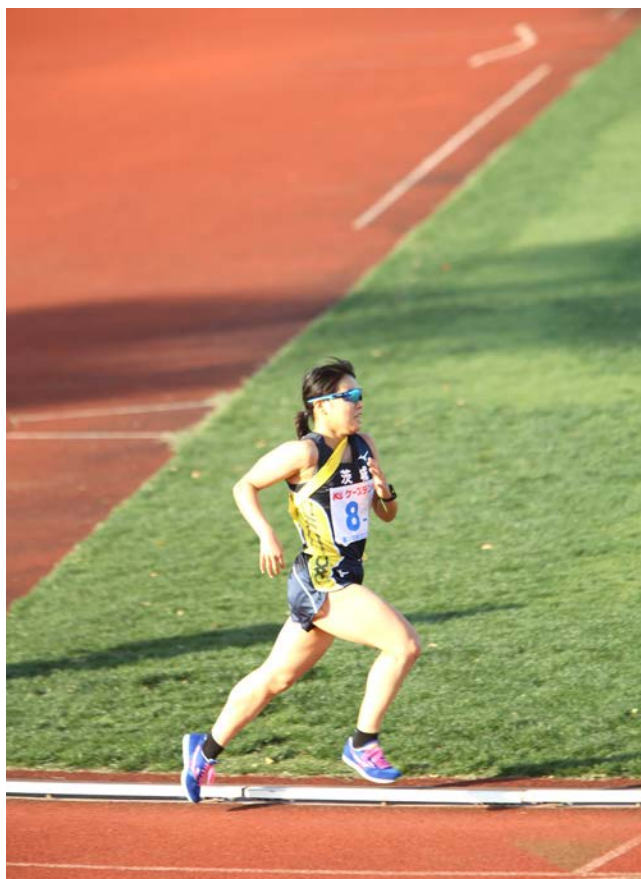
1区
(6.0km)

流れを作る1区の「先頭から離されないでたすきを渡す」という重要な役割をきっちり果たしました。





茨城ののぼり旗を背に、堂々とした走りは圧巻です。



故障に苦しんだ小井戸選手。過酷なりハビリを越えて、再び強い走りを見せてくれ、2人を抜いて茨城県の8位入賞に大きく貢献。風を切るその姿は美しく、凜とした空気が漂っていました。

小井戸涼選手の復活です。

小井戸涼 選手

記録 33分13秒

区間順位 5位

総合8位(茨城)

9区
(10km)

日立製作所女子陸上競技部事務局

強い小井戸が帰ってきた



8位の「8」を表現し、最高の笑顔を見せてくれました。

